



六月に地域のボランテイアの皆様に植えていただいたマリールドが、今、学校の玄関で次から次へと花を咲かせています。有り難いことに、「子どもたちは勉強を頑張らなければならぬから」と、いつものような生徒会美化委員会の生徒の参加なしで作業してくださいました。思えば三月、チューリップの球根を植えていただいた時は

臨時休校中でした。四月、校門周辺はチューリップが色とりどりに咲き揃い、子どもたちを迎える準備は万端整っていました。ですが、きれいな花を見てもらえたのは入学式の日だけ。令和二年度は、今まで経験したことがない事だらけのスタートとなりました。

緊張感漂う分散登校の日々を経て、現在、学校は日常を取り戻しつつあります。ただ、マスク・手洗い・消毒が欠かせないこと、そして実はもう八月になつているのだということを除けば、です。ここまでに、たくさん、行事が中止になりました。今後、いくつかの行事の縮小

化が予定されています。

新型コロナウイルス感染症に関して、当初から「不要不急」という言葉が報道でもよく使われていました。でも、一見「不要不急」なものにこそ、人生の喜びや楽しみがあるものです。

今年度は、授業がぎっしり詰まった学校生活になりますが、「勉強」は辛く苦しいものではありませんが、そんな中でも何か喜びや楽しみが見つけれられるような、「今日も来て良かったな」と子どもたちが思えるような学校にしたいです。色々のご心配やご迷惑をおかけするやもしれませんが、今後ともご理解、ご協力のおかげ、どうぞよろしくお願ひいたします。